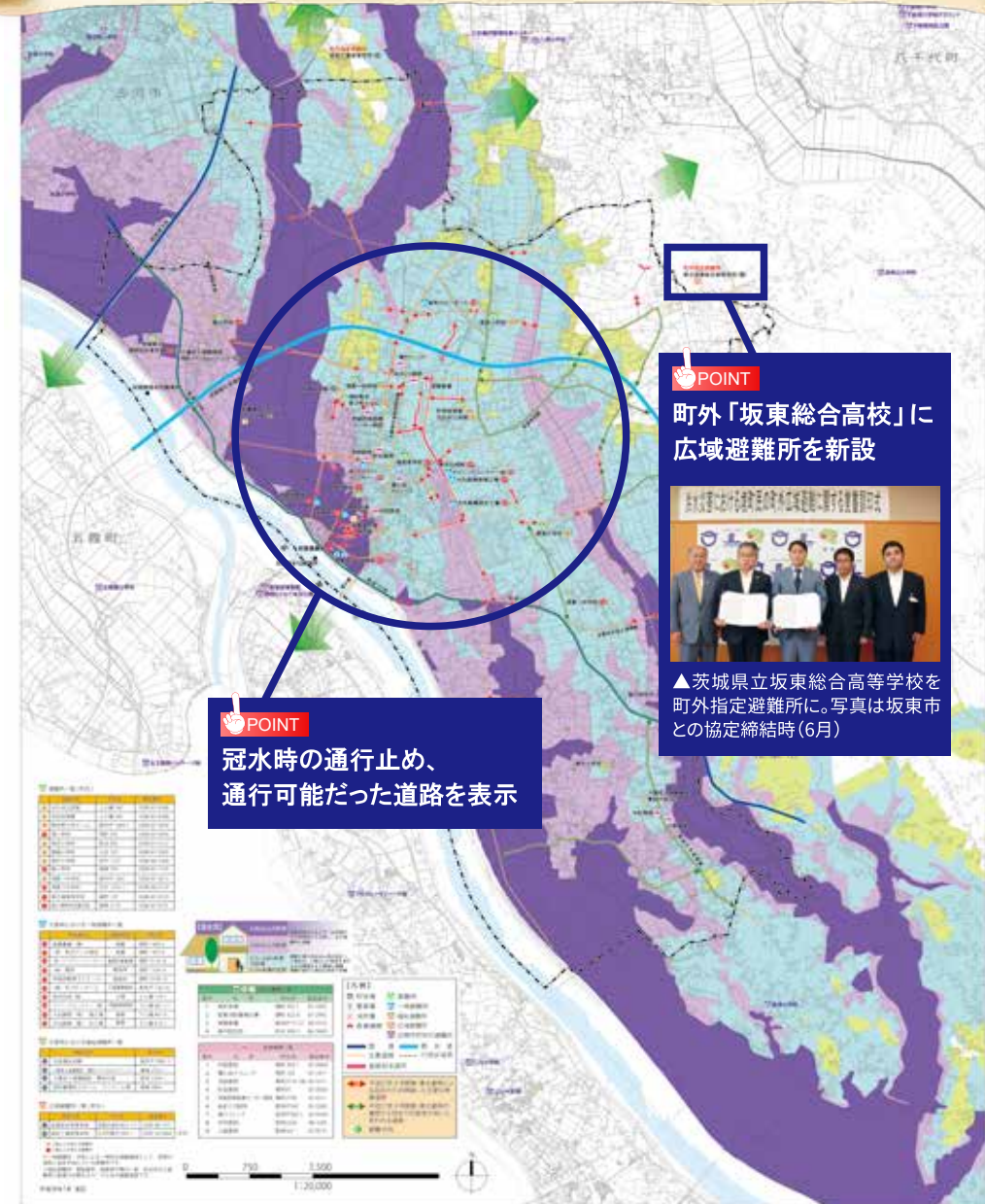


関東・東北豪雨災害から1年

あの時の水害を教訓に

この夏も全国各地で台風による甚大な豪雨災害が発生しました。昨年9月の豪雨災害から1年。これまでに町が行ってきた防災対策と町の商店街の現状を報告します。

ーみんなの命を守るためにー 境町洪水ハザードマップを改訂



災害への備えを忘れない

昨年9月の関東・東北豪雨災害では、大規模半壊家屋130件、半壊家屋116件、床下浸水247件の町史に残る甚大な被害が発生しました。

町を襲った水害を踏まえ、利根川氾濫を想定した洪水ハザードマップの改訂版を作成し、町内約8000世帯や公民館、集会所などに配布しました。改訂版では、豪雨により冠水して通行不能になった主要道路を赤色の矢印で、比較的安全な主要道路を緑色の矢印で明記し、今年6月に広域避難場所となった県立坂東総合高(坂東市)を表示しています。

鬼怒川の堤防が決壊したことで利根川流域にある境町でもいっそうの防災意識が高まる中、日頃の災害への備えとして、新しい洪水ハザードマップを役立ててください。



▲災害後発行された『広報さかい』
2015年9月・10月災害臨時合併号

防災報告 1

「災害協定」 町の防災対策を 強化するため 各種協定を締結

町は、県弁護士会と災害時の法律相談に関する協定を、県行政書士会と災害時の支援協力に関する協定を締結しました。この協定は、災害時に被災した個人や法人、その他団体に対して、無料の法律相談や行政書士業務を行い、被災者を支援するものです。

また、6月には洪水災害時の広域的な避難所を確保するために、坂東総合高校と広域避難に関する覚書を締結しています(写真10頁)。



▲茨城県弁護士会



▲茨城県行政書士会

防災報告 2

「防災功労者 内閣総理大臣 表彰受賞」 境町消防団の献身的な 貢献に感謝します

昨年9月の「関東・東北豪雨」の際、8日間にわたり昼夜を問わず、住民の救助や避難誘導などにあった功績が認められ、平成28年防災功労者内閣総理大臣表彰を境町消防団が受賞しました。



▲首相官邸記念写真



▲境町消防団長
加藤正則氏

防災功労者表彰は、茨城県、栃木県、宮城県、の18の消防団など、災害救助や地域の防災体制の整備などに貢献した個人や団体をたてるもので、今年は4人と38の団体が表彰を受けました。

防災報告 3

「町の復興」 あれから1年…。完全復興に向けて

関東・東北豪雨の水害から1年。町は387ミリの記録的な雨水と宮戸川の決壊で甚大な被害を被り、町の商店街も大きな被害を受けました。完全な復興を目指し、創業60年以上続く「ながほり製菓」は頑張り続けています。

「くよくよしても仕方がないと、あれからずっとお饅頭などを手づくりして頑張ってきた。最近では、若いお客様も増えてきて、笑顔と元気を分け合っている毎日です」と話す、ご夫婦(康雄さん・菊江さん)。

今では、お得意様に加えて、新しいお客様も増えており、店の営業は完全復興に向けて順調に進んでいます。

これからもずっと、
手づくりで頑張ります

